柏崎刈羽原子力発電所第7号機 設工認審査資料								
資料番号	KK7添-1-060-8 改1							
提出年月日	2020年6月25日							

V-1-10-8 設工認に係る設計の実績,工事及び検査の計画 原子炉格納施設

> 2020年6月 東京電力ホールディングス株式会社

#### 1. 概要

本資料は、本文「設計及び工事に係る品質マネジメントシステム」に基づく設計に係るプロセスの実績、工事及び検査に係るプロセスの計画について説明するものである。

#### 2. 基本方針

柏崎刈羽原子力発電所第7号機における設計に係るプロセスとその実績について,「設計及び 工事に係る品質マネジメントシステムに関する説明書」に示した設計の段階ごとに,組織内外の 相互関係,進捗実績及び具体的な活動実績について説明する。

工事及び検査に関する計画として、組織内外の相互関係、進捗実績及び具体的な活動計画について説明する。

適合性確認対象設備ごとの調達に係る管理のグレードと実績について説明する。

#### 3. 設計及び工事に係るプロセスとその実績又は計画

「設計及び工事に係る品質マネジメントシステムに関する説明書」に基づき実施した、柏崎刈 羽原子力発電所第7号機における設計の実績、工事及び検査の計画について、「設計及び工事に係 る品質マネジメントシステムに関する説明書」の様式-1により示す。

また,適合性確認対象設備ごとの調達に係る管理のグレードと実績について,「設計及び工事に 係る品質マネジメントシステムに関する説明書」の様式-9により示す。

## 設工認に係る設計の実績、工事及び検査の計画

		プロセス (設計対象)	組織	内外の相互	互関係			
1	各段階	実績:3.3.1~3.3(5)	⊚::	主担当 〇	: 関連	インプット	アウトプット	他の記録類
		計画:3.4.1~3.7.2	本社	発電所	供給者			
		適合性確認対象設備に対する要求事項の明確化				• 設置変更許可申請書		
	3. 3. 1		0	_	_	• 設置許可基準規則	_	_
						<ul><li>技術基準規則</li></ul>		
		各条文の対応に必要な適合性確認対象設備の選定				• 設置変更許可申請書	・様式-2	・工事計画認可申請書作成・確認
						• 設置許可基準規則		要領「品質管理の各段階におけ
	3. 3. 2		0	_	—	• 安全審査指針		る確認記録(設計の段階)」
						• 技術基準規則		
						<ul><li>・旧技術基準規則</li></ul>		
		基本設計方針の作成 (設計 1)				・様式-2	・様式-3	
						• 技術基準規則	・様式-4	_
						・様式-2	・様式-5-1	
						・様式-4		
						・実用炉規則別表第二		_
	3. 3. 3					• 技術基準規則		
	(1)		©	_	-	· 設置変更許可申請書	・様式-6	
						• 設置許可基準規則	・様式-7	_
設						• 技術基準規則		
計						・基本設計方針	・様式-5-2	・工事計画認可申請書作成・確認
								要領「品質管理の各段階におけ
								る確認記録(設計の段階)」
		適合性確認対象設備の各条文への適合性を確保するため				·様式−2	・様式-8の「設工認設計結果(要目	・工事計画認可申請書作成・確認
		の設計 (設計 2)	©	_	_	・様式-5-1	表/設計方針)」欄	要領「品質管理の各段階におけ
			0	_	_	・様式-5-2		る確認記録(設計の段階)」
						・基本設計方針		
		1. 共通的に適用される設計	「原子	产炉冷却	系統			
			施設	と」参照		「原子炉冷却系統施設」参照	「原子炉冷却系統施設」参照	「原子炉冷却系統施設」参照
	3. 3. 3					<u>I</u>	1	
	(2)	2.1 設備に係る設計のための系統の明確化及び兼				・様式-2	・原子炉格納施設の設計条件に関する	
		用する機能の確認				·様式-5-1	説明書	
		7.13 7 DATES AREAG				•様式-5-2	・設備別記載事項の設定根拠に関する	
			0	_	_	・基本設計方針	説明書	_
						・設備図書	70736	
						· 設置変更許可申請書		
						・原子炉格納施設の設計条件		
						// 1 / / 1日川 1 // 回忆 × /		

		_			T	1	1
	プロセス (設計対象)	組織	内外の相望	互関係			
各段階	実績:3.3.1~3.3(5)	◎:	主担当 〇	: 関連	インプット	アウトプット	他の記録類
	計画:3.4.1~3.7.2	本社	発電所	供給者			
	2.2 機能を兼用する機器を含む設備に係る設計						
	① 原子炉格納容器						
	② 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通	通部					
	③ 原子炉格納容器安全設備						
	<ul><li>格納容器スプレイヘッダ</li></ul>						
	• 原子炉建屋放水設備						
	・格納容器下部注水系						
	④ 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度	度制御設	は備並び!	に格納容	<b>F器再循環設備</b>		
	・非常用ガス処理系						
	・耐圧強化ベント系						
	・格納容器圧力逃がし装置						
	・可燃性ガス濃度制御系						
	⑤ 原子炉格納容器調気設備						
	・不活性ガス系						
	⑥ 圧力逃がし装置						
	・格納容器圧力逃がし装置						
	⑦ 汚濁防止膜						
	⑧ 原子炉建屋						
	⑨ 小型船舶(汚濁防止膜設置用)						
	⑩ 放射性物質吸着材						
	2.2.1 兼用を含む原子炉格納施設の機器の仕				・機能単位の系統図	・要目表	・仕様書
	様等に関する設計				・設定根拠の「(概要)」部分	・設備別記載事項の設定根拠に関する	
		0	_	0	・原子炉格納施設の設計条件	説明書	
					• 設備図書	・機器の配置を明示した図面	
					• 業務報告書	・構造図	
	2.2.2 各機器固有の設計	ı		1	1	,	,
	(1) 圧力低減設備その他の安全設備のポン				• 基本設計方針	・圧力低減設備その他の安全設備のポ	・仕様書
	プの有効吸込水頭に係る設計				  ・設備図書	ンプの有効吸込水頭に関する説明書	
					  ・設置変更許可申請書		
					- ・設置変更許可時の設計資料		
		0	_		  ・既工認		
					  ・非常用炉心冷却設備又は格納容器熱除去設備		
					に係るろ過装置の性能評価等について(内		
					規)		
					<ul><li>業務報告書</li></ul>		
		1	1	1	<u>I</u>	1	1

	プロセス (設計対象)	組織	内外の相互	互関係			
各段階	実績:3.3.1~3.3(5)	⊚::	主担当 〇	: 関連	インプット	アウトプット	他の記録類
	計画: 3.4.1~3.7.2	本社	発電所	供給者			
	(2) その他各設備固有の設計	©	_	_	・基本設計方針 ・V-1-10-9の「2.1 非常用発電装置」におい て設計した結果	<ul><li>・原子炉格納施設の設計条件に関する 説明書</li><li>・原子炉格納施設の水素濃度低減性能</li></ul>	_
	2.3 機能を兼用する機器を含む原子炉格納施設の系統図に関する取りまとめ	©	_	_	<ul> <li>・様式-2</li> <li>・様式-5-1</li> <li>・様式-5-2</li> <li>・機能単位の系統図</li> </ul>	に関する説明書 ・原子炉格納施設に係る系統図	_
	3. 原子炉格納施設の設計						
	3.1 原子炉格納容器に係る設計	©	_	_	<ul><li>・基本設計方針</li><li>・設備図書</li><li>・設置変更許可時の解析結果</li><li>・既工認</li><li>・重要構造物安全評価(原子炉格納容器信頼性 実証事業)に関する総括報告書</li></ul>	・原子炉格納施設の設計条件に関する 説明書	_
	3.2 原子炉格納容器隔離弁に係る設計	0	_	_	<ul><li>・基本設計方針</li><li>・設備図書</li><li>・原子炉格納施設の設計条件</li></ul>	・原子炉格納施設の設計条件に関する 説明書	_
	3.3 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質の閉じ込め機能評価	©		0	<ul> <li>・基本設計方針</li> <li>・設備図書</li> <li>・既工認</li> <li>・発電用原子力設備規格 設計・建設規格</li> <li>・重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質の閉じ込め機能評価に用いる評価温度及び評価圧力</li> <li>・自社研等での試験結果</li> <li>・業務報告書</li> </ul>	・原子炉格納施設の設計条件に関する 説明書	<ul><li>・仕様書</li><li>・解析実施状況調査チェックシート</li></ul>
	3.4 原子炉格納容器の破損を防止するための水素濃	農度低減	設備の記	設計			
	3.4.1 可燃性ガス濃度制御系に関する設計	©	_	0	<ul><li>・基本設計方針</li><li>・設備図書</li><li>・設置変更許可申請書</li><li>・原子炉格納施設の設計条件</li><li>・業務報告書</li></ul>	<ul><li>・要目表</li><li>・設備別記載事項の設定根拠に関する 説明書</li><li>・原子炉格納施設の設計条件に関する 説明書</li><li>・原子炉格納施設の水素濃度低減性能 に関する説明書</li></ul>	・仕様書

	プロセス (設計対象)	組織	内外の相互	<b>正関係</b>			
<b></b>	実績:3.3.1~3.3(5)	◎:∄	注担当 ○	: 関連	インプット	アウトプット	他の記録類
	計画:3.4.1~3.7.2	本社	発電所	供給者			
						・原子炉格納施設に係る機器の配置を	
						明示した図面	
						・原子炉格納施設に係る系統図	
						• 構造図	
	3.4.2 耐圧強化ベント系による水素及び酸素				• 基本設計方針	・要目表	・仕様書
	排出に関する設計				• 設備図書	<ul><li>・設備別記載事項の設定根拠に関する</li></ul>	
					・設置変更許可申請書	説明書	
					・業務報告書	・原子炉格納施設の設計条件に関する	
						説明書	
		0	_	0		・原子炉格納施設の水素濃度低減性能	
						に関する説明書	
						・原子炉格納施設に係る機器の配置を	
						明示した図面	
						・原子炉格納施設に係る系統図	
						• 構造図	
	3.4.3 格納容器圧力逃がし装置による水素及				・基本設計方針	・基本設計方針機器	
	び酸素排出に関する設計	0	_	_	• 設備図書	・原子炉格納施設の設計条件に関する	_
						説明書	
	3.5 原子炉建屋等の損傷を防止するための水素濃				• 基本設計方針	・要目表	・仕様書
	度低減設備の設計				• 設備図書	・設備別記載事項の設定根拠に関する	
					• 設置変更許可申請書	説明書	
		©		0	・設置変更許可時の設計資料	・原子炉格納施設の水素濃度低減性能	
		0			• 業務報告書	に関する説明書	
					•配置図	・原子炉格納施設に係る機器の配置を	
						明示した図面	
						・構造図	
	3.6 真空破壊装置の設計				・基本設計方針	・要目表	・仕様書
					・設備図書	・設備別記載事項の設定根拠に関する	
		©	_	0	・業務報告書	説明書	
						・子炉格納施設に係る機器の配置を明	
						示した図面	
						・構造図	
	4. その他原子炉格納施設に係る設計						
	4.1 放射性物質濃度低減設備の単一故障に係る設	「原-	子炉冷去	『系統	「原子炉冷却系統施設」参照	「原子炉冷却系統施設」参照	   「原子炉冷却系統施設」参照
	備	施	設」参	照			「你」が竹や木が地段」参照

	プロセス (設計対象)	組織	内外の相互	互関係			
各段階	実績:3.3.1~3.3(5)	⊚:∃	主担当 〇	: 関連	インプット	アウトプット	他の記録類
	計画:3.4.1~3.7.2	本社	発電所	供給者			
	4.2 非常用ガス処理系の設計	©	_	0	<ul><li>・基本設計方針</li><li>・設備図書</li><li>・設置変更許可時の設計資料</li><li>・業務報告書</li></ul>	<ul> <li>・要目表</li> <li>・設備別記載事項の設定根拠に関する 説明書</li> <li>・原子炉格納施設の水素濃度低減性能 に関する説明書</li> <li>・原子炉格納施設に係る機器の配置を 明示した図面</li> <li>・原子炉格納施設に係る系統図</li> <li>・構造図</li> </ul>	・仕様書
	4.3 ブローアウトパネル関連設備の設計	0	_	0	<ul><li>・基本設計方針</li><li>・業務報告書</li></ul>	・基本設計方針機器 ・安全設備及び重大事故等対処設備が 使用される条件の下における健全性 に関する説明書	・仕様書・解析実施状況調査チェックシート
	4.4 コリウムシールドの設計	0	_	0	<ul><li>・基本設計方針</li><li>・設備図書</li><li>・設置変更許可時の設計資料</li><li>・業務報告書</li></ul>	<ul><li>・基本設計方針機器</li><li>・原子炉格納施設の設計条件に関する 説明書</li></ul>	・仕様書
	4.5 原子炉格納容器の配管貫通部及び電気配線貫 通部の設計	0	_	_	・基本設計方針	<ul><li>・原子炉格納施設の設計条件に関する 説明書</li></ul>	_
	4.6 代替循環冷却系の設計	0	_	0	・基本設計方針 ・設備図書 ・業務報告書	<ul> <li>・要目表</li> <li>・設備別記載事項の設定根拠に関する 説明書</li> <li>・原子炉格納施設の設計条件に関する 説明書</li> <li>・原子炉格納施設に係る機器の配置を 明示した図面</li> <li>・原子炉格納施設に係る系統図</li> </ul>	・仕様書
3. 3. 3 (3)	設計のアウトプットに対する検証	0	_	_	・様式-2~様式-8	_	・工事計画認可申請書作成・確認 要領「品質管理の各段階におけ る確認記録(設計の段階)」
3. 3. 3 (4)	設工認申請書の作成	0	0	_	<ul><li>・設計 1</li><li>・設計 2</li><li>・工事の方法</li></ul>	・設工認申請書案	・工事計画認可申請書作成・確認要領「確認チェックシート」

		プロセス (設計対象)	組織	内外の相互	<b>五関係</b>			
í	各段階	実績:3.3.1~3.3(5)	⊚::	主担当 〇	: 関連	インプット	アウトプット	他の記録類
		計画:3.4.1~3.7.2		発電所	供給者			
	3. 3. 3	設工認申請書の承認				・設工認申請書案	・設工認申請書	・原子力発電保安運営委員会議事
	(5)		0	0	_			録
	(5)							<ul><li>原子力発電保安委員会議事録</li></ul>
	0 4 1	設工認に基づく設備の具体的な設計の実施(設計3)	_			・設計資料	・様式-8の「設備の具体的設計結	・仕様書
	3. 4. 1		_	0	0		果」欄	・業務報告書
	2.4.0	設備の具体的な設計に基づく工事の実施	_		0	・仕様書	・工事記録	
_	3. 4. 2			0		・工事の方法		_
一十		使用前事業者検査の計画				・様式-8の「設工認設計結果(要目表/設計方	・様式-8の「確認方法」欄	・仕様書
事	3. 5. 2		_	0	0	針)」欄及び「設備の具体的設計結果」欄		・業務報告書
及						・工事の方法		
び   検	3. 5. 3	検査計画の管理	_	0	0	・使用前事業者検査工程表	・検査成績書	_
査	3. 5. 4	主要な耐圧部の溶接部に係る使用前事業者検査の管理	_	0	0	・溶接部詳細一覧表	・工事記録	_
且.		使用前事業者検査の実施	_	0	0	・様式-8の「確認方法」欄	・検査要領書	
	3. 5. 5					・工事の方法		_
			_	0	0	・検査要領書	・検査記録	_
	3. 7. 2	識別管理及びトレーサビリティ	_	0	0	—	・検査記録	_

					は備ごとの調達に係る管理のグレード		
発電用原子炉施設の種類		設備区分	系統名	機器区分	機器名称	保安規定品質マネジメント (保安規定品質マネジメント (大力・・開発」の適用業務 (大力・・開発」の適用業務 (大力・・開発」の適用業務	備考
				原子炉格納容器本体	原子炉格納容器	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					上部ドライウェル機器搬入用ハッチ	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
				機器搬出入口	下部ドライウェル機器搬入用ハッチ	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					サプレッションチェンバ出入口	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
				エアロック	上部ドライウェル所員用エアロック	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					下部ドライウェル所員用エアロック	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-80)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-81)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-240)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-241)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
E	田				配管貫通部 (X-201)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
原子炉格:	原子炉格;	*	*		配管貫通部 (X-202)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
納施設	納 容 器				配管貫通部 (X-203)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-90)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
				原子炉格納容器配管 貫通部及び電気配線		既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
				貫通部	配管貫通部 (X-91)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-92)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-210B)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-210C)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-250)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-251)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-112)	I O O	
					配管貫通部 (X-252)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-255)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	

						<b> 達に係る管理のグレード</b>			νι·7				
発電用原子炉施設の種類		設 備 区 分	系統名	機器区分		機器名称	品質管理グレード	「7.3設計・開発」の適用業務システム計画 保安規定品質マネジメント	_ マ	備考			
					配管貫通部	(X-253)	I	0	0				
					配管貫通部	(X-254)	既設設備で 理に基づき	あり, 当即 実施してい	寺の調達管				
					配管貫通部	(X-204)	既設設備で 理に基づき	あり, 当町 実施してい	寺の調達管いる。				
					配管貫通部	(X-205)	既設設備て 理に基づき						
					配管貫通部	(X-206)	既設設備て 理に基づき	があり, 当時 実施してい	寺の調達管いる。				
					配管貫通部		既設設備で 理に基づき						
					配管貫通部	(X-3)	既設設備で 理に基づき	があり, 当町 実施してい	寺の調達管いる。				
					配管貫通部	(X-30B)	既設設備で 理に基づき	があり, 当町 実施してい	寺の調達管いる。				
				原子炉格納容器配管	配管貫通部	(X-30C)	既設設備て 理に基づき	があり, 当町 実施してい	寺の調達管いる。				
					配管貫通部	(X-61)	既設設備で 理に基づき	あり, 当明 実施してい	寺の調達管いる。				
	_				配管貫通部	(X-62)	既設設備で 理に基づき	があり, 当時 実施してい	寺の調達管いる。				
原子炉格	原子炉格	*			原子炉格納容器配管 貫通部及び電気配線	原子炉格納容器配管	原子炉格納容器配管 貫通部及び電気配線	貫通部及び電気配線	配管貫通部	(X-63)	既設設備で 理に基づき		
納施設	納容器			貫通部	配管貫通部		既設設備で 理に基づき						
					配管貫通部		既設設備で 理に基づき						
					配管貫通部	(X-221)	既設設備て 理に基づき	あり,当町 実施してい	寺の調達管いる。				
					配管貫通部		既設設備で 理に基づき						
					配管貫通部		既設設備て理に基づき						
					配管貫通部	(X-200B)	既設設備て理に基づき	あり, 当町 実施してい	寺の調達管いる。				
					配管貫通部	(X-200C)	既設設備て 理に基づき	あり, 当時 実施してい	寺の調達管いる。				
					配管貫通部		既設設備て 理に基づき						
					配管貫通部	(X-69)	既設設備で 理に基づき	あり,当時 実施してい	寺の調達管いる。				
					配管貫通部	(A-020)	既設設備て 理に基づき	実施してい	いる。				
					配管貫通部	(X-10A)	既設設備で理に基づき	実施してい	いる。				
					配管貫通部	(X-10D)	既設設備て 理に基づき						

	ī				は備ごとの調達に係る管理のグレー 			
発電用原子炉施設の種類		設 備 区 分	系統名	機器区分	機器名称	保安規定品質マネジメント 「7.4調達」の適用業務 「7.3設計・開発」の適用業務 「7.3設計・開発」の適用業務	備考	
						配管貫通部 (X-10B)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-10C)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。		
					配管貫通部 (X-12A)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。		
					配管貫通部 (X-12B)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。		
					配管貫通部 (X-33A)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。		
					配管貫通部 (X-33B)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。		
					配管貫通部 (X-33C)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。		
					配管貫通部 (X-31B)	既設設備であり,当時の調達管 理に基づき実施している。		
					配管貫通部 (X-31C)	既設設備であり,当時の調達管 理に基づき実施している。		
					配管貫通部 (X-35B)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。		
Œ					配管貫通部 (X-35C)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。		
原子炉格	原子炉格	*		原子炉格納容器配管 貫通部及び電気配線	配管貫通部 (X-50)	既設設備であり,当時の調達管 理に基づき実施している。		
納 施 設	納 容 器			貫通部	配管貫通部 (X-37)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。		
					配管貫通部 (X-38)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。		
					配管貫通部 (X-213)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。		
					配管貫通部 (X-11)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。		
					配管貫通部 (X-22)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。		
					配管貫通部 (X-65)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。		
					配管貫通部 (X-66)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。		
				配管貫通部 (X-215)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。			
					配管貫通部 (X-220)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。		
					配管貫通部 (X-60)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。		
					配管貫通部 (X-70)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。		
					配管貫通部 (X-71A)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。		

発電用原子炉施設の種類		設備区分	系統名	機器区分	機器名称	保安規定品質マネジメント ・ 3 設計画 開発」の適用業務 ・ 開発」の適用業務
					配管貫通部 (X-71B)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-72)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-170)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-621)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-610)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-710)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-700A)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-700B)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-700C)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-700D)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-700E)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
原子炉格	原子炉格	*			配管貫通部 (X-700F)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
納施設	納容器			貫通部	配管貫通部 (X-700G)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-700H)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-700J)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-700K)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-130A)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-130B)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-130C)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-130D)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
						既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-141A)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-141B)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-140A)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。

発電用原子炉施設の種類		設備区分	系統名	機器区分	機器名称	保安規定品質マネジメント ・ 1 3 設計・開発」の適用業務 ・ 開発」の適用業務
					配管貫通部 (X-146A)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-146B)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-146C)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-146D)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-171)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-321A)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-321B)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-332A)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-332B)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-160)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
	1				配管貫通部 (X-177)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
原子炉格	原子炉格	*		原子炉格納容器配管 貫通部及び電気配線	配管貫通部 (X-162A)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。
納施設	納容器			貫通部	配管貫通部 (X-162B)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-161A)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-161B)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-331A)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-331B)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-142A)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-142B)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-142C)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-143A)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-143B)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-143C)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-143D)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。

					は備ごとの調達に係る管理のグレード	人	
発電用原子炉施設の種類		設 備 区 分	系統名	機器区分	機器名称	保安規定品質マネジメント 「7.4調達」の適用業務 「7.3設計・開発」の適用業務	備考
					配管貫通部 (X-144A)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-144B)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-144C)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-144D)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-147)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-142D)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-320)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-342)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-322A)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-322B)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-322C)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
原子炉格	原子炉格	*		原子炉格納容器配管 貫通部及び電気配線	配管貫通部 (X-322D)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
納施設	納容器			貫通部	配管貫通部 (X-322E)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-322F)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-323A)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	_
					配管貫通部 (X-323B)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	_
					配管貫通部 (X-323C)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-323D)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-323E)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-323F)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-660A)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
				_	配管貫通部 (X-660B)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-660C)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-660D)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	

					は備ごとの調達に係る管理のグレード		
発電用原子炉施設の種類		設備区分	系統名	機器区分	機器名称	保安規定品質マネジメント (保安規定品質マネジメント システム計画 「7.4調達」の適用業務 「7.3設計・開発」の適用業務 品質管理グレード	
					配管貫通部 (X-650A)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					Ē	配管貫通部 (X-650B)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。
					配管貫通部 (X-650C)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-650D)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-651A)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
						既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
						既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-651D)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-750A)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-750B)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
ie:	西				配管貫通部 (X-750C)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
原子炉格	原子炉格	*		原子炉格納容器配管 貫通部及び電気配線	配管貫通部 (X-750D)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
納施設	納容器			貫通部		既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
						既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配管貫通部 (X-751C)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
						既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配官貝理部 (A-080A)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配官貝理部 (A-080B)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配官貝理部 (A-180A)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					配官貝理部 (A-180B)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					电X癿冰貝进印 (A-100A)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					电太阳脉具通部 (A-100b)	既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。	
						既設設備であり、当時の調達管理に基づき実施している。	
					電気配線貫通部 (X-100C)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	

					は備ごとの調達に係る管理のグレード	人	
発電用原子炉施設の種類		設 備 区 分	系統名	機器区分	機器名称	保安規定品質マネジメント (マラステム計画 (イマカー) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の	הֹצ
					電気配線貫通部 (X-100D)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					電気配線貫通部 (X-101A)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					電気配線貫通部 (X-101B)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					電気配線貫通部 (X-103B)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					電気配線貫通部 (X-104A)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					電気配線貫通部 (X-104B)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					電気配線貫通部 (X-104G)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					電気配線貫通部 (X-104H)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					電気配線貫通部 (X-101C)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					電気配線貫通部 (X-101D)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
Œ					電気配線貫通部 (X-101E)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
原子炉格	原子炉格	*		原子炉格納容器配管 貫通部及び電気配線	電気配線貫通部 (X-101F)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
納 施 設	納 容 器			貫通部	電気配線貫通部 (X-101G)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					電気配線貫通部 (X-102A)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					電気配線貫通部 (X-102B)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					電気配線貫通部 (X-102D)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					電気配線貫通部 (X-102E)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					電気配線貫通部 (X-102F)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					電気配線貫通部 (X-102G)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					電気配線貫通部 (X-103A)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					電気配線貫通部 (X-104C)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					電気配線貫通部 (X-104D)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
				電	電気配線貫通部 (X-104E)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					電気配線貫通部 (X-104F)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	

発電用原子炉施設の種		設 備 区 分		機器区分	機器名称	保安規定品質マネジメント (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)				
類						原設設備であり、当時の調達管				
					電気配線貫通部 (X-102C)	理に基づき実施している。				
					電気配線貫通部 (X-103D)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。				
					電気配線貫通部 (X-103C)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。				
					電気配線貫通部 (X-103E)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。				
					電気配線貫通部 (X-105A)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。				
	原				電気配線貫通部 (X-105B)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。				
	子炉格納	*	*	原子炉格納容器配管 貫通部及び電気配線 貫通部		既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。				
	容器				電気配線貫通部 (X-105D)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。				
					電気配線貫通部 (X-110)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。				
					電気配線貫通部 (X-111)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。				
					電気配線貫通部 (X-113)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。				
原子炉					電気配線貫通部 (X-300A)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。				
格納施設					電気配線貫通部 (X-300B)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。				
				原子炉建屋原子炉棟	原子炉建屋原子炉区域(二次格納施設)	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。				
	原子			機器搬出入口	原子炉建屋機器搬出入口	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。				
	炉 建 屋	*	*	エアロック	原子炉建屋エアロック	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。				
				原子炉建屋基礎スラ ブ	原子炉建屋基礎スラブ	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。				
				真空破壊装置	真空破壞弁	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。				
	圧力低	*	*	ダイヤフラムフロア	ダイヤフラムフロア	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。				
	低減設備な			ベント管	ベント管	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。				
	その他の安		容	熱交換器	残留熱除去系熱交換器	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。				
		原子炉格納容器安 全設備	器 ス	ポンプ	残留熱除去系ポンプ	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。				
	備全設備			· 全設備		レイ冷	ろ過装置	残留熱除去系ストレーナ	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	

_		ı	_		は備ごとの調達に係る管理のグレード	人 U 大順		<i>V</i> N7	
発電用原子炉施設の種類		設 備 区 分	系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	「7.3設計・開発」の適用業務システム計画 システム計画 保安規定品質マネジメント	「7.4調達」の適用業務システム計画 と変規定品質マネジメント	備考
				安全弁及び逃がし弁		既設設備で 理に基づき			
					原子炉格納容器スプレイ管 (ドライウェル 側)	既設設備で 理に基づき			
					原子炉格納容器スプレイ管 (サプレッションチェンバ側)	既設設備で 理に基づき			
					残留熱除去系 残留熱除去系ストレーナ(B) ~原子炉圧力容器(B)系出口配管合流部	既設設備で 理に基づき			
					残留熱除去系 原子炉圧力容器(B)系出口配管合流部〜残留熱除去系ポンプ(B)	既設設備で 理に基づき	あり, 当時 実施してV	寺の調達管 いる。	
					残留熱除去系 残留熱除去系ポンプ(B)〜残 留熱除去系ポンプ(B)出口分岐部	既設設備で 理に基づき			
					残留熱除去系 残留熱除去系ポンプ(B)出口 分岐部〜残留熱除去系熱交換器(B)	既設設備で 理に基づき			
					残留熱除去系 残留熱除去系熱交換器(B) ~ サプレッションプール水移送配管(B)分岐部	既設設備で 理に基づき	あり, 当時 実施してV	寺の調達管 いる。	
						既設設備で 理に基づき			
	圧				残留熱除去系 熱交換器(B)出口配管合流部 〜サプレッションプール注水配管(B)分岐部				
原	力 低 減		格納容		残留熱除去系 サプレッションプール注水 配管(B)分岐部〜サプレッションチェンバス プレイモード(B)分岐部	既設設備で 理に基づき	あり,当 実施してV	寺の調達管いる。	
子炉格納	の	原子炉格納容器安 全設備	器スプレ		残留熱除去系 サプレッションチェンバス プレイモード(B)分岐部	既設設備で 理に基づき			
施設	他の安全		イ冷却系	主配管(スプレイ ヘッダを含む。)	残留熱除去系 サプレッションチェンバス プレイモード(B)分岐部~ドライウェルスプ レイモード(B)分岐部	既設設備で 理に基づき	あり, 当時 実施してV	寺の調達管	
	設 備	設	713		残留熱除去系 ドライウェルスプレイモード(B)分岐部	既設設備で 理に基づき			
						既設設備で 理に基づき			
						既設設備で 理に基づき			
					残留熱除去系 残留熱除去系ストレーナ(C) ~原子炉圧力容器(C)系出口配管合流部	既設設備で 理に基づき			
					残留熱除去系 原子炉圧力容器(C)系出口配管合流部〜残留熱除去系ポンプ(C)	既設設備で 理に基づき			
					残留熱除去系 残留熱除去系ポンプ(C)〜残 留熱除去系ポンプ(C)出口分岐部	既設設備で 理に基づき			
					残留熱除去系 残留熱除去系ポンプ(C)出口 分岐部〜残留熱除去系熱交換器(C)	既設設備で 理に基づき	あり, 当時 実施してV	<u>-</u> 寺の調達管 いる。	
					残留熱除去系 残留熱除去系熱交換器(C) ~ サプレッションプール水移送配管(C)分岐部				
				ž		既設設備で 理に基づき	,		
					残留熱除去系 熱交換器(C)出口配管合流部 〜サプレッションプール注水配管(C)分岐部				

				週行 性唯認 刈 家故	#備ごとの調達に係る管理のグレード	人 ( ) 关限 ( ) ( ) ( ) ( ) ( )						
発電用原子炉施設の種類		設備区分	系統名	機器区分	機器名称	保安規定品質マネジメント 保安規定品質マネジメント システム計画 「7.4調達」の適用業務 「7.3設計・開発」の適用業務 品質管理グレード	備考					
			格			既設設備であり、当時の調達を 理に基づき実施している。	等					
			納容器スプ	主配管(スプレイ	残留熱除去系 サプレッションチェンバス プレイモード(C)分岐部〜ドライウェルスプ レイモード(C)分岐部	既設設備であり、当時の調達を 理に基づき実施している。	<u> </u>					
			フレイ冷却	ヘッダを含む。)		既設設備であり、当時の調達 理に基づき実施している。	<u> </u>					
			系			既設設備であり、当時の調達 理に基づき実施している。	<b>管</b>					
				熱交換器		既設設備であり、当時の調達 理に基づき実施している。	等					
				ポンプ		既設設備であり、当時の調達を 理に基づき実施している。	等					
				ろ過装置		既設設備であり, 当時の調達を理に基づき実施している。	<u> </u>					
				安全弁及び逃がし弁		既設設備であり, 当時の調達 理に基づき実施している。						
										残留熱除去系 残留熱除去系ストレーナ(A) 〜原子炉圧力容器(A)系出口配管合流部	既設設備であり, 当時の調達を理に基づき実施している。	
	圧力低				残留熱除去系 原子炉圧力容器(A)系出口配管合流部〜残留熱除去系ポンプ(A)	既設設備であり, 当時の調達 理に基づき実施している。	<b>*</b>					
原子炉	減 設 備				残留熱除去系 残留熱除去系ポンプ(A)〜残 留熱除去系ポンプ(A)出口分岐部	既設設備であり, 当時の調達を理に基づき実施している。						
格納施		原子炉格納容器安全設備	サプレッ		残留熱除去系 残留熱除去系ポンプ(A)出口 分岐部〜残留熱除去系熱交換器(A)	既設設備であり、当時の調達 <sup>を</sup> 理に基づき実施している。						
設	安全設備		ション		残留熱除去系 残留熱除去系熱交換器(A) 〜 サプレッションプール水移送配管(A)分岐部							
	ν <del>ι</del>		チェンバ			既設設備であり, 当時の調達 理に基づき実施している。						
			プール水		残留熱除去系 熱交換器(A)出口配管合流部 〜サプレッションプール注水配管(A)分岐部		等					
			冷		残留熱除去系 サプレッションプール注水 配管(A)分岐部〜サプレッションチェンバ	既設設備であり、当時の調達を 理に基づき実施している。	<b>*</b>					
					残留熱除去系 残留熱除去系ストレーナ(B) ~原子炉圧力容器(B)系出口配管合流部	既設設備であり, 当時の調達や理に基づき実施している。						
					残留熱除去系 原子炉圧力容器(B)系出口配管合流部〜残留熱除去系ポンプ(B)	既設設備であり, 当時の調達を理に基づき実施している。	<b>4</b>					
					残留熱除去系 残留熱除去系ポンプ(B)〜残 留熱除去系ポンプ(B)出口分岐部	既設設備であり, 当時の調達を理に基づき実施している。	Ť.					
						理に基づき実施している。						
					残留熱除去系 残留熱除去系熱交換器(B)~サプレッションプール水移送配管(B)分岐部							
						既設設備であり, 当時の調達を理に基づき実施している。	等					
					残留熱除去系 熱交換器(B)出口配管合流部 〜サプレッションプール注水配管(B)分岐部		等					

					设備ごとの調達に係る管理のグレード 	人〇八点		1017	
発電用原子炉施設の種類		設備区分	系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	「7.3設計・開発」の適用業務システム計画保安規定品質マネジメント	「7.4調達」の適用業務システム計画 保安規定品質マネジメント	備考
					残留熱除去系 サプレッションプール注水 配管(B)分岐部〜サプレッションチェンバ	既設設備で 理に基づき			
					残留熱除去系 残留熱除去系ストレーナ(C) ~原子炉圧力容器(C)系出口配管合流部	既設設備で 理に基づき			
			サプレ		残留熱除去系 原子炉圧力容器(C)系出口配 管合流部〜残留熱除去系ポンプ(C)	既設設備て 理に基づき			
			ッション		残留熱除去系 残留熱除去系ポンプ(C)〜残 留熱除去系ポンプ(C)出口分岐部	既設設備て 理に基づき			
			チェンバ	主配管 (スプレイ ヘッダを含む。)	残留熱除去系 残留熱除去系ポンプ(C)出口 分岐部〜残留熱除去系熱交換器(C)	既設設備て 理に基づき			
			プール水		残留熱除去系 残留熱除去系熱交換器(C) ~ サプレッションプール水移送配管(C)分岐部				
			<b>小冷却系</b>		残留熱除去系 サプレッションプール水移 送配管(C)分岐部~熱交換器(C)出口配管合 流部	既設設備て 理に基づき	があり, 当时 実施してい	時の調達管 ハる。	
					残留熱除去系 熱交換器(C)出口配管合流部 〜サプレッションプール注水配管(C)分岐部				
					残留熱除去系 サプレッションプール注水 配管(C)分岐部〜サプレッションチェンバ	既設設備て 理に基づき			
				12 \	復水移送ポンプ	既設設備て 理に基づき		寺の調達管 いる。	
	圧力低減			ポンプ	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)(6,7号機 共用)	_	0	_	一般産業用工業品であり、かつ原子 力部門外の部署が調達しているた め、品質管理グレードは対象外であ る。
原子炉格	設備そ	原子炉格納容器安 全設備		貯蔵槽	復水貯蔵槽	既設設備て 理に基づき			
納施設	他の安	<b>上</b> 以 洲		ろ過装置	可搬型Y型ストレーナ(6,7号機共用)	П	0	0	
	全設備				補給水系 格納容器下部注水系分岐部~下 部ドライウェル	既設設備て 理に基づき			
					高圧炉心注水系 E22-F028, F029, F030~高 圧炉心注水系集合管	既設設備て 理に基づき			
			格納容品		高圧炉心注水系 高圧炉心注水系集合管	既設設備て 理に基づき	があり, 当町 実施してい	時の調達管 いる。	
			器下部注		高圧炉心注水系 高圧炉心注水系集合管~P13-F019	既設設備て 理に基づき			
			水系		補給水系 P13-F019~低圧代替注水系合流 部	既設設備て 理に基づき			
						既設設備て 理に基づき			
						既設設備て 理に基づき			
					補給水系 低圧代替注水系(A),(B)分岐部~ 復水補給水系可搬式注水配管合流部	既設設備て 理に基づき			
					補給水系 復水補給水系可搬式注水配管合流部~復水補給水系(A)外部注水配管合流部				
						理に基づき	実施してい	いる。	
						既設設備て 理に基づき			

		ı			は備ごとの調達に係る管理のグレード	人〇人順		DIV)					
発電用原子炉施設の種類		設 備 区 分	系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	「7.3設計・開発」の適用業務システム計画 保安規定品質マネジメント	「7.4調達」の適用業務システム計画保安規定品質マネジメント	備 考				
					補給水系 格納容器下部注水系分岐部~低 圧代替注水系分岐部	既設設備で 理に基づき							
					補給水系 低圧代替注水系分岐部	既設設備で 理に基づき							
					補給水系 復水補給水系(B)外部注水配管合 流部~低圧代替注水系分岐部	既設設備で 理に基づき							
					補給水系 復水補給水系可搬式注水配管合流部	既設設備て 理に基づき							
					補給水系 復水補給水系(A)外部注水配管合 流部	П	0	0					
					補給水系 復水補給水系可搬式接続口 (東)~復水補給水系可搬式接続口(屋内 東)	П	0	0					
			格 納 容		補給水系 復水補給水系可搬式接続口(屋内北)~復水補給水系可搬式注水配管合流部	П	0	0					
			器下部注	主配管(スプレイ ヘッダを含む。)	補給水系 復水補給水系接続口(北)~復水補給水系(A)外部注水配管合流部	П	0	0					
		カ	水系		補給水系 復水補給水系接続口(南)~復水補給水系(B)外部注水配管合流部	П	0	0					
	圧力				補給水系 復水貯蔵槽~低圧代替注水系合流部	既設設備で 理に基づき							
原子	低減設備				補給水系 低圧代替注水系合流部〜復水移 送ポンプ	既設設備で 理に基づき							
炉格納施	その他	原子炉格納容器安 全設備			補給水系 復水移送ポンプ〜補給水系復水 移送ポンプ出口分岐部	既設設備で 理に基づき	があり、当時 実施してい	寺の調達管 いる。					
設	の安全設								補給水系 復水貯蔵槽~E22-F028, F029, F0 30	既設設備て 理に基づき			
	備				代替給水設備 可搬型代替注水ポンプ屋外 用20mホース (6,7号機共用)	Ш	0	0					
					代替給水設備 可搬型代替注水ポンプ屋内 用20mホース	IV	0	0					
				ポンプ	復水移送ポンプ	既設設備て 理に基づき			一般産業用工業品であり、かつ原子				
					可搬型代替注水ポンプ(A-2級)(6,7号機 共用)	_	0		一般産業用工業品であり、から原子 力部門外の部署が調達しているため、品質管理グレードは対象外である。				
			代替格	貯蔵槽	復水貯蔵槽	既設設備て 理に基づき							
			納容器ス	ろ過装置	可搬型Y型ストレーナ(6,7号機共用)	П	0	0					
			プレイ冷	安全弁及び逃がし弁	E11-F051A, B, C	既設設備で 理に基づき							
			却系		プレイモード(B)分岐部	既設設備て理に基づき							
				土配官(スプレイ)プ	残留熱除去系 サプレッションチェンバス プレイモード(B)分岐部〜ドライウェルスプ レイモード(B)分岐部	既設設備て 理に基づき							
					残留熱除去系 ドライウェルスプレイモード(B)分岐部	既設設備で 理に基づき							

	1				<b>2備ごとの調達に係る管理のグレード</b>	<b>グロック</b> (原		VIV/	
発電用原子炉施設の種類		設 備 区 分	系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	「7.3設計・開発」の適用業務システム計画 保安規定品質マネジメント	「7.4調達」の適用業務システム計画 保安規定品質マネジメント	備考
					残留熱除去系 ドライウェルスプレイモード(B)分岐部〜低圧炉心注水モード(B)分岐部	既設設備で 理に基づき			
					残留熱除去系 低圧炉心注水モード(B)分岐部〜低圧代替注水配管残留熱除去系(B)合流部	既設設備で 理に基づき	があり, 当時 実施してい	寺の調達管いる。	
						既設設備で 理に基づき			
					残留熱除去系 サプレッションチェンバス プレイモード(B)分岐部〜原子炉格納容器ス プレイ管(サプレッションチェンバ側)	既設設備で 理に基づき	があり, 当時 実施してい	寺の調達管いる。	
						既設設備で 理に基づき			
					高圧炉心注水系 E22-F028,F029,F030~高 圧炉心注水系集合管	既設設備で 理に基づき			
						既設設備で 理に基づき			
					高圧炉心注水系 高圧炉心注水系集合管~P13-F019	既設設備で 理に基づき			
						既設設備で 理に基づき			
	圧		代			既設設備で 理に基づき			
原	力低減設		替格納		補給水系 低圧代替注水系(A),(B)分岐部	既設設備で 理に基づき	があり, 当時 実施してい	寺の調達管いる。	
子炉格納	備その	原子炉格納容器安 全設備	容器スプ	主配管(スプレイ ヘッダを含む。)	補給水系 低圧代替注水系(A),(B)分岐部~ 復水補給水系可搬式注水配管合流部	既設設備で 理に基づき			
施設	他の安全		レイ冷		補給水系 復水補給水系可搬式注水配管合流部~復水補給水系(A)外部注水配管合流部				
	設備		却系		補給水系 低圧代替注水系(A),(B)分岐部~ 格納容器下部注水系分岐部	既設設備で 理に基づき			
						既設設備で 理に基づき			
					補給水系 格納容器下部注水系分岐部~低 圧代替注水系分岐部	既設設備で 理に基づき			
						既設設備で 理に基づき			
						既設設備で 理に基づき			
					残留熱除去系 E11-F060B~E11-F033B	既設設備で理に基づき			
					残留熱除去系 E11-F033B~低圧代替注水配管残留熱除去系 (B) 合流部	既設設備で 理に基づき			
					補給水系 復水補給水系(B)外部注水配管合流部~低圧代替注水系分岐部	既設設備で理に基づき	があり、当時 実施してい	寺の調達管いる。	
						既設設備で 理に基づき			
					補給水系 復水補給水系(A)外部注水配管合 流部	П	0	0	
					補給水系 復水補給水系可搬式接続口 (東)~復水補給水系可搬式接続口(屋内 東)	П	0	0	

-	,	1			は備ごとの調達に係る管理のグレード	人口入順		<i>V</i> N7	
発電用原子炉施設の種類		設備区分	系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	「7.3設計・開発」の適用業務システム計画 保安規定品質マネジメント	「7.4調達」の適用業務 システム計画 保安規定品質マネジメント	備考
					補給水系 復水補給水系可搬式接続口(屋内北)~復水補給水系可搬式注水配管合流部	П	0	0	
				補給水系 復水補給水系接続口(北)~復 水補給水系(A)外部注水配管合流部 II 〇	0				
					補給水系 復水補給水系接続口(南)~復水補給水系(B)外部注水配管合流部	П	0	0	
			代 替		補給水系 復水貯蔵槽~低圧代替注水系合流部	既設設備で 理に基づき			
			格納容		補給水系 低圧代替注水系合流部〜復水移送ポンプ	既設設備で 理に基づき			
			器スプレ		補給水系 復水移送ポンプ〜補給水系復水 移送ポンプ出口分岐部	既設設備で 理に基づき			
			イ冷却系		補給水系 復水貯蔵槽~E22-F028, F029, F0 30	既設設備で 理に基づき			
			XI.		原子炉格納容器スプレイ管(ドライウェル側)	既設設備で 理に基づき			
						既設設備で 理に基づき			
	F				代替給水設備 可搬型代替注水ポンプ屋外 用20mホース (6,7号機共用)	Ш	0	0	
E	圧力低減				代替給水設備 可搬型代替注水ポンプ屋内 用20mホース	IV	0	0	
原子炉格	設備その	原子炉格納容器安 全設備		ポンプ	大容量送水車(原子炉建屋放水設備用) (6,7号機共用)	I	0	0	
納施設	他の安	Lip. (III	原子炉		泡原液搬送車(6,7号機共用)	I	0	0	
	全設備		建屋放水		原子炉建屋放水設備 大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)吸込20mホース(6,7号機共用)	I	0	0	
			設備		原子炉建屋放水設備 大容量送水車吐出放水砲用5m,10m,50mホース (6,7号機共用)	I	0	0	
					原子炉建屋放水設備 放水砲 (6,7号機共用)	I	0	0	
				熱交換器	残留熱除去系熱交換器	既設設備で 理に基づき			
				ポンプ	残留熱除去系ポンプ	既設設備で 理に基づき			
		代		復水移送ポンプ	既設設備で 理に基づき				
			替循環	ろ過装置	残留熱除去系ストレーナ	既設設備で 理に基づき	実施してい	いる。	
			冷却系	安全弁及び逃がし弁		既設設備で 理に基づき			
					残留熱除去系 代替循環冷却配管残留熱除去系(B)分岐部~E11-F062	I	0	0	
				ヘッダを含む。)	高圧炉心注水系 E11-F062~代替循環冷却配管高圧炉心注水系(B)合流部	I	0	0	
					復水給水系 代替注水配管復水給水系(A)合 流部~原子炉圧力容器	既設設備で 理に基づき	があり、当時 実施してい	寺の調達管 いる。	

発電用原子炉施設の種類		設 備 区 分	系統名	機器区分	機器名称	保安規定品質でネジメント ・	備考
					復水給水系 代替注水系配管B21-F056A出口 合流部~代替注水配管復水給水系(A)合流部 理に基づき実施し 残留熱除去系 低圧代替注水配管残留熱除 既設設備であり,	理に基づき実施している。	
					去系(A)合流部~高圧代替注水系合流部	理に基づき実施している。	
						理に基づき実施している。	
					残留熱除去系 原子炉圧力容器(B)系出口配管合流部~残留熱除去系ポンプ(B)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
					残留熱除去系 残留熱除去系ポンプ(B)〜残 留熱除去系ポンプ(B)出口分岐部	既設設備であり,当時の調達管 理に基づき実施している。	
					残留熱除去系 残留熱除去系ポンプ(B)出口分岐部〜残留熱除去系熱交換器(B)	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
					残留熱除去系 残留熱除去系熱交換器(B) 〜 サプレッションプール水移送配管(B)分岐部		
					残留熱除去系 ドライウェルスプレイモード(B)分岐部	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
						既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
	圧				残留熱除去系 低圧炉心注水モード(B)分岐部〜低圧代替注水配管残留熱除去系(B)合流部	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
原	力低減設		代			既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
子炉格納施	備 そ	原子炉格納容器安 全設備	替循環冷却	主配管 (スプレイ ヘッダを含む。)	残留熱除去系 サプレッションプール水移 送配管(B)分岐部〜代替循環冷却配管残留熱 除去系(B)分岐部	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
設	の安全設		系			既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
	備				残留熱除去系 高圧代替注水系合流部~代替注水系配管B21-F056A出口合流部	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
						既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
						既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
					高圧炉心注水系 高圧炉心注水系(B),(C)分 岐部	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
					高圧炉心注水系 高圧炉心注水系(B),(C)分岐部~代替循環冷却配管高圧炉心注水系(B)合流部	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
						既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
						既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
						既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
						既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
						既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	

					と備ごとの調達に係る管理のグレード ・	人 5 人類 (	
発電用原子炉施設の種類		設 備 区 分	系統名	機器区分	機器名称	保安規定品質マネジメント (保安規定品質マネジメント システム計画 「7.3設計・開発」の適用業務 「7.3設計・開発」の適用業務	備考
					補給水系 低圧代替注水系(A),(B)分岐部~ 復水補給水系可搬式注水配管合流部	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					補給水系 復水補給水系可搬式注水配管合 流部~復水補給水系(A)外部注水配管合流部		
					補給水系 復水補給水系(A)外部注水配管合流部~E11-F060A	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
					残留熱除去系 E11-F060A~E11-F033A	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
					残留熱除去系 E11-F033A~低圧代替注水配管残留熱除去系(A)合流部	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
					補給水系 低圧代替注水系(A),(B)分岐部~ 格納容器下部注水系分岐部	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
					補給水系 格納容器下部注水系分岐部	既設設備であり,当時の調達管 理に基づき実施している。	
						既設設備であり,当時の調達管 理に基づき実施している。	
			代替循環	主配管(スプレイ	補給水系 低圧代替注水系分岐部	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
			冷却系		補給水系 低圧代替注水系分岐部~E11-F0 60B	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
	圧力低法				残留熱除去系 E11-F060B~E11-F033B	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
原子炉格		原子炉格納容器安				残留熱除去系 E11-F033B~低圧代替注水配管残留熱除去系(B)合流部	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。
納施設	他の	全設備				既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
	安全設備				補給水系 復水補給水系(A)外部注水配管合 流部	п о о	
						既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
						既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
						理に基づき実施している。	
					補給水系 格納容器下部注水系分岐部~下部ドライウェル	既設設備であり,当時の調達管理に基づき実施している。	
				ポンプ	高圧代替注水系ポンプ	I O O	
			高	貯蔵槽	<b>復水</b> 財廠僧	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
		圧代替			理に基づき実施している。		
			注水系			理に基づき実施している。	
					復水給水系 代替注水系配管B21-F056A出口 合流部~代替注水配管復水給水系(A)合流部	理に基づき実施している。	
						既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	

				<b>適合性帷認对象</b> 設	は備ごとの調達に係る管理のグレード	及い美領	(武៕)	1余)	
発電用原子炉施設の種類		設 備 区 分	系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	「7.3設計・開発」の適用業務システム計画 保安規定品質マネジメント	_ ~	備考
					高圧炉心注水系 E22-F028, F029, F030~高 圧炉心注水系集合管	既設設備で理に基づき	であり,当時 を実施してV		
					高圧炉心注水系 高圧炉心注水系集合管	既設設備で 理に基づき	ごあり, 当時 実施してい	寺の調達管いる。	
					高圧炉心注水系 高圧炉心注水系集合管~ 高圧炉心注水系(B),(C)分岐部	既設設備で理に基づき	ごあり, 当時 を実施してい		
					高圧炉心注水系 高圧炉心注水系(B),(C)分岐部		ごあり, 当時 を実施してい		
					高圧炉心注水系 高圧炉心注水系(B),(C)分岐部~高圧代替注水系分岐部		ごあり, 当時 を実施してい		
					原子炉隔離時冷却系 原子炉隔離時冷却系分岐部~蒸気入口配管分岐部	既設設備で 理に基づき	ごあり, 当時 実施してい		
					原子炉隔離時冷却系 蒸気出口配管合流部 ~サプレッションチェンバ		ごあり, 当時 を実施してい		
			高圧代替	主配管(スプレイ	原子炉隔離時冷却系 蒸気入口配管分岐部 ~E51-F065	I	0	0	
			注水系	ヘッダを含む。)	高圧代替注水系 E51-F065~高圧代替注水 系ポンプ	I	0	0	
					高圧代替注水系 高圧代替注水系ポンプ~ E51-F066	I	I O	0	
	圧力低:	原子炉格納容器安			原子炉隔離時冷却系 E51-F066~蒸気出口配管合流部	I	0	0	
原子炉	減設備そ				高圧炉心注水系 高圧代替注水系分岐部~ E22-F023	Ι	0	0	
格納施設		全設備			高圧代替注水系 E22-F023~高圧代替注水 系ポンプ	I	0	0	
	女全設備				高圧代替注水系 高圧代替注水系ポンプ〜 E11-F065	I	0	0	
					残留熱除去系 E11-F065~高圧代替注水系 合流部	Ι	0	0	
					補給水系 復水貯蔵槽~E22-F028, F029, F0 30		ごあり,当時 き実施してい		
					復水移送ポンプ		ごあり, 当時 き実施してい		
				ポンプ	可搬型代替注水ポンプ (A-2級) (6,7号機 共用)	_	0		一般産業用工業品であり,かつ原子力部門外の部署が調達しているため,品質管理グレードは対象外である。
				貯蔵槽	復水貯蔵槽		「あり,当印 を実施してV		
			低圧代替	ろ過装置	可搬型Y型ストレーナ(6,7号機共用)	П	0	0	
			注	安全弁及び逃がし弁	E11-F051A, B, C	既設設備で 理に基づき	ごあり, 当時 生実施してい	寺の調達管	
					復水給水系 代替注水配管復水給水系(A)合 流部~原子炉圧力容器		ごあり,当時 生実施してい		
				<u></u> 主配管 (スプレイ 復	復水給水系 代替注水系配管B21-F056A出口合流部~代替注水配管復水給水系(A)合流部				
				9	残留熱除去系 低圧代替注水配管残留熱除去系(A)合流部~高圧代替注水系合流部	既設設備で 理に基づき	であり,当時 を実施してV	寺の調達管いる。	

				投備ごとの調達に係る管理のグレード 		
発電用原子炉施設の種類	設 備 区 分	系統名	機器区分	機器名称	保安規定品質マネジメント マステム計画 「7.4調達」の適用業務 「7.3設計・開発」の適用業務 品質管理グレード	備考
				残留熱除去系 高圧代替注水系合流部~代替注水系配管B21-F056A出口合流部	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
				補給水系 補給水系復水移送ポンプ出口分 岐部〜低圧代替注水系(A),(B)分岐部	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
				補給水系 低圧代替注水系(A),(B)分岐部~ 復水補給水系可搬式注水配管合流部	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
THE STATE OF THE S	E 力 低 減	lit.		補給水系 復水補給水系可搬式注水配管合流部~復水補給水系(A)外部注水配管合流部	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
原子炉格	設 備 そ 原子炉格納容器 の 全設備	省	主配管 (スプレイ ヘッダを含む。)	補給水系 復水補給水系(A)外部注水配管合流部~E11-F060A	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
納 施 設	他 の 安	注水系	(ハックを占む。)	残留熱除去系 E11-F060A~E11-F033A	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
	全 設 備			残留熱除去系 E11-F033A~低圧代替注水配管残留熱除去系(A)合流部	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
				補給水系 低圧代替注水系(A),(B)分岐部~ 格納容器下部注水系分岐部	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
				補給水系 低圧代替注水系分岐部	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。	
				補給水系 低圧代替注水系分岐部~E11-F0 60B	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
					理に基づき実施している。	
				補給水系 復水補給水系(B)外部注水配管合流部~低圧代替注水系分岐部	理に基づき実施している。	
				流部	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。	
				補給水系 復水補給水系(A)外部注水配管合 流部	поо	

	1				と備ごとの調達に係る管理のグレード -	及U天順		עוע)	
発電用原子炉施設の種類		設備区分	系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	「7.3設計・開発」の適用業務システム計画保安規定品質マネジメント	「7.4調達」の適用業務システム計画 保安規定品質マネジメント	備考
					補給水系 復水補給水系可搬式接続口 (東)~復水補給水系可搬式接続口(屋内 東)	п	0	0	
					補給水系 復水補給水系可搬式接続口(屋内北)~復水補給水系可搬式注水配管合流部	п	0	0	
					補給水系 復水補給水系接続口(北)~復水補給水系(A)外部注水配管合流部	П	0	0	
			低		補給水系 復水補給水系接続口(南)~復水補給水系(B)外部注水配管合流部	П	0	0	
			圧代替注		補給水系 復水貯蔵槽~低圧代替注水系合流部	既設設備で 理に基づき			
			在水 系		補給水系 低圧代替注水系合流部〜復水移送ポンプ	既設設備で理に基づき			
					補給水系 復水移送ポンプ〜補給水系復水 移送ポンプ出口分岐部		iであり,当時の調達管 iき実施している。		
	圧力低減	原 7. <u>恒</u> 枚 如宏 职 史			補給水系 復水貯蔵槽~E22-F028, F029, F0 30	既設設備であり、当時の調達管 理に基づき実施している。			
		原子炉格納容器安全設備			代替給水設備 可搬型代替注水ポンプ屋外 用20mホース (6,7号機共用)	Ш	0	0	
					代替給水設備 可搬型代替注水ポンプ屋内 用20mホース	IV	0	0	
原				ポンプ	ほう酸水注入系ポンプ	既設設備て 理に基づき	があり,当時 実施してい		
子 炉 格	設備その		ほう	容器	ほう酸水注入系貯蔵タンク	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。			
納施設	他の安全			安全弁及び逃がし弁	C41-F014	既設設備て 理に基づき			
	全設備		酸水注入		C41–F003A, B	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。			
			<b>八</b> 系		高圧炉心注水系 ほう酸水注入系合流部~ 原子炉圧力容器	既設設備で 理に基づき			
					ほう酸水注入系 ほう酸水注入系貯蔵タンク〜ほう酸水注入系ポンプ	既設設備で 理に基づき			
					ほう酸水注入系 ほう酸水注入系ポンプ〜 ほう酸水注入系合流部	既設設備で 理に基づき			
				加熱器	非常用ガス処理系乾燥装置	既設設備で 理に基づき			
					T22-F001A, B	既設設備で 理に基づき			
		放射性物質濃度制	非常	主要弁	T22-F002A, B	既設設備で 理に基づき			
		御設備及び可燃性 ガス濃度制御設備 並びに格納容器再	用 ガ ス 処		T22-F004A, B	既設設備で 理に基づき			
		循環設備	理系			既設設備で 理に基づき			
					非常用ガス処理系 非常用ガス処理系不活性ガス配管合流部〜非常用ガス処理系乾燥 装置	既設設備で 理に基づき			
					非常用ガス処理系 非常用ガス処理系乾燥 装置	既設設備で 理に基づき			

					(佣ことの調達に係る官理のグレート	)	(HX IIII IX)	1		
発電用原子炉施設の種類		設備区分	系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	「7.3設計・開発」の適用業務システム計画保安規定品質マネジメント	7 ステ規 4 調計品	備 考	
						既設設備で 理に基づき				
						既設設備で 理に基づき				
						既設設備で 理に基づき				
					非常用ガス処理系 非常用ガス処理系フィルタ装置~T22-F004A,B	既設設備で 理に基づき				
			非常用		非常用ガス処理系 T22-F004A, B~非常用ガス処理系窒素パージライン(A)合流部及び非常用ガス処理系窒素パージライン(B)合流部	既設設備で 理に基づき	があり, 当時 実施してい	寺の調達管 ハる。		
			ガス処理系		非常用ガス処理系 非常用ガス処理系窒素 パージライン(A)合流部及び非常用ガス処理 系窒素パージライン(B)合流部~耐圧強化ベ ントライン合流部					
					非常用ガス処理系 耐圧強化ベントライン 合流部〜主排気筒	既設設備であり,当時の調達管 理に基づき実施している。				
					非常用ガス処理系 T31-F020〜非常用ガス 処理系不活性ガス配管合流部	既設設備て 理に基づき				
				排風機	非常用ガス処理系排風機		あり, 当時の調達 実施している。			
	圧力			フィルター	非常用ガス処理系フィルタ装置	既設設備であり、当時の調理に基づき実施している。				
原子	低減設備	放射性物質濃度制		加熱器	可燃性ガス濃度制御系再結合装置加熱器	I	0	0		
格納施	その他	御設備及び可燃性 ガス濃度制御設備 並びに格納容器再 循環設備				安全弁及び逃がし弁	T49-F009	I	0	0
設	安全設				T49-F015	I	0	0		
	備					既設設備であり, 当時の調達管理に基づき実施している。				
				主要弁	T49-F003A, B	既設設備て 理に基づき				
			可 燃 性		T49-F007A, B	既設設備て 理に基づき				
			ガス濃度		T49-F008A, B	既設設備で 理に基づき				
			制御系		可燃性ガス濃度制御系 ドライウェル〜可燃性ガス濃度制御系再結合装置(A)	I	0	0		
					燃性ガス濃度制御系再結合装置(B)	既設設備で理に基づき				
				主配管	可燃性ガス濃度制御系 可燃性ガス濃度制御系再結合装置(A)~サプレッションチェンバ	I	0	0		
					可燃性ガス濃度制御系 可燃性ガス濃度制御系再結合装置(B)~フィルタベントドレン移送ライン合流部	既設設備て 理に基づき	があり,当時 実施してい	時の調達管 ハる。		
				可 レ	可燃性ガス濃度制御系 フィルタベントドレン移送ライン合流部〜サプレッション チェンバ	I	0	0		
				ブロワ	可燃性ガス濃度制御系再結合装置ブロワ	I	0	0		
				_		•		_		

					と備ごとの調達に係る管理のグレード			DIV/	
発電用原子炉施設の種類		設備区分	系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	「7.3設計・開発」の適用業務システム計画 システム計画 保安規定品質マネジメント	「7.4調達」の適用業務システム計画 システム計画 保安規定品質マネジメント	備考
					可燃性ガス濃度制御系再結合装置	I	0	0	
					可燃性ガス濃度制御系再結合装置内配管 可燃性ガス濃度制御系再結合装置入口~可 燃性ガス濃度抑制系再結合装置ブロワ合流 部	I	0	0	
			可燃性ガス濃度制御系	74.6 \\ H	可燃性ガス濃度制御系再結合装置内配管 可燃性ガス濃度抑制系再結合装置ブロワ合 流部~可燃性ガス濃度制御系再結合装置ブロワ	I	0	0	
				再結合装置	可燃性ガス濃度制御系再結合装置内配管 可燃性ガス濃度制御系再結合装置ブロワ〜 可燃性ガス濃度制御系再結合装置冷却器出 口	I	0	0	
					可燃性ガス濃度制御系再結合装置内配管 可燃性ガス濃度制御系再結合装置冷却器出 ロ~可燃性ガス濃度制御系再結合装置出口	I	0	0	
					可燃性ガス濃度制御系再結合装置内配管 可燃性ガス濃度制御系再結合装置気水分離 器~可燃性ガス濃度抑制系再結合装置ブロ ワ合流部	I	0	0	
	圧力低	力 氐 咸 砂	水素濃度抑制系	再結合装置	静的触媒式水素再結合器	I	0	0	
				圧縮機	可搬型窒素供給装置(6,7号機共用)	I	0	0	
原子炉	減設供			容器	遠隔空気駆動弁操作用ボンベ	I	0	0	
格納施設	の 他 の	ガス濃度制御設備 並びに格納容器再 循環設備		<ul><li>不活性ガス系 耐圧強化ベントバイパスラ イン分岐部~T31−F072</li><li>I</li></ul>	0				
H-A	安全設備				格納容器圧力逃がし装置 T31-F072〜耐圧 強化ベントバイパスライン合流部	I	0	0	
							あり, 当時の調達管 実施している。		
			耐		格納容器圧力逃がし装置 耐圧強化ベント バイパスライン合流部〜格納容器フィルタ ベントライン分岐部	既設設備て 理に基づき			
			圧強化べ			既設設備て 理に基づき			
			ント	主配管	非常用ガス処理系 T61-F002〜耐圧強化ベントライン合流部	既設設備で 理に基づき			
					耐圧強化ベント系 耐圧強化ベント窒素 パージライン接続ロ〜T22-F202A及びT22- F202B	I	0	0	
					非常用ガス処理系 T22-F202A及びT22-F202B~非常用ガス処理系窒素パージライン(A)合流部及び非常用ガス処理系窒素パージライン(B)合流部	I	0	0	
					非常用ガス処理系 耐圧強化ベントライン 合流部〜主排気筒	既設設備て 理に基づき	があり,当時 実施してい	寺の調達管 vる。	
				- ヨノ ヌン - フ	非常用ガス処理系 非常用ガス処理系窒素 パージライン(A)合流部及び非常用ガス処理 系窒素パージライン(B)合流部〜耐圧強化ベ ントライン合流部				
						既設設備て 理に基づき			

		-			と備ごとの調達に係る管理のグレード ・	人 5 天順	(以用因)	VN)	
発電用原子炉施設の種類		設 備 区 分	系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	「7.3設計・開発」の適用業務システム計画 保安規定品質マネジメント	「7.4調達」の適用業務システム計画保安規定品質マネジメント	備考
						既設設備で 理に基づき			
			耐圧強化が	主配管	不活性ガス系 耐圧強化ベントバイパスライン分岐部~不活性ガス系非常用ガス処理 配管分岐部	既設設備で 理に基づき	ごあり, 当時 実施してい	寺の調達管 いる。	
			ベント系		不活性ガス系 不活性ガス系非常用ガス処理配管分岐部〜耐圧強化ベントライン分岐部	既設設備で 理に基づき	ごあり, 当時 実施してい	寺の調達管 ヽる。	
					格納容器圧力逃がし装置 可搬型窒素供給 装置用20mホース (6,7号機共用)	I	0	0	
					ドレン移送ポンプ	I	0	0	
				ポンプ	スクラバ水pH制御設備用ポンプ(6,7号機共 用)	I	0	0	
					可搬型代替注水ポンプ(A-2級)(6,7号機 共用)	_	0	_	一般産業用工業品であり、かつ原子力部門外の部署が調達しているため、品質管理グレードは対象外である。
				圧縮機	可搬型窒素供給装置(6,7号機共用)	I	0	0	
					ドレンタンク	I	0	0	
				容器	フィルタ装置	I O	0		
原子				- н	よう素フィルタ	I	0	0	
炉格納施	その他				遠隔空気駆動弁操作用ボンベ	I	0	0	
設	の安全設	AN NOVAMIN	格納容品		T31-F019	既設設備であり,当時の調達管 理に基づき実施している。			
	備		器圧力逃		T31-F022	既設設備て 理に基づき	ごあり, 当時 実施してい	寺の調達管 いる。	
			がし装置	主要弁		既設設備で 理に基づき			
			<b>声</b>		T31-F072	I	0	0	
					T61-F001	I	0	0	
					可燃性ガス濃度制御系 フィルタベントドレン移送ライン合流部〜サプレッション チェンバ	I	0	0	
					不活性ガス系 耐圧強化ベントバイパスライン分岐部〜T31-F072	I	0	0	
				<b>-</b>	格納容器圧力逃がし装置 T31-F072〜耐圧 強化ベントバイパスライン合流部	I	0	0	
				- - - -	格納容器圧力逃がし装置 耐圧強化ベント ライン分岐部〜耐圧強化ベントバイパスラ イン合流部	既設設備て 理に基づき	ごあり,当時 玄実施してい	寺の調達管 いる。	
						既設設備て 理に基づき			
						既設設備で 理に基づき			

_					は備ごとの調達に係る管理のグレード 			<i>V</i> 1.7	
発電用原子炉施設の種類		設 備 区 分	系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	「7.3設計・開発」の適用業務システム計画 保安規定品質マネジメント	「7.4調達」の適用業務システム計画保安規定品質マネジメント	備 考
					不活性ガス系 サプレッションチェンバ〜 ドライウェル・サプレッションチェンバ合 流部	既設設備で 理に基づき	*あり, 当印 *実施してV	寺の調達管 いる。	
						既設設備で 理に基づき			
					不活性ガス系 耐圧強化ベントバイパスライン分岐部~不活性ガス系非常用ガス処理 配管分岐部	既設設備で 理に基づき			
					不活性ガス系 不活性ガス系非常用ガス処理配管分岐部~耐圧強化ベントライン分岐部	既設設備で 理に基づき			
					格納容器圧力逃がし装置 格納容器フィル タベントライン分岐部〜格納容器フィルタ ベントライン窒素パージライン合流部	I	0	0	
					格納容器圧力逃がし装置 格納容器フィル タベントライン窒素パージライン合流部〜 フィルタ装置入口ノズル	I	0	0	
					格納容器圧力逃がし装置 フィルタ装置出 ロノズル〜よう素フィルタ入口分岐部	I	0	0	
		圧力低減			格納容器圧力逃がし装置 よう素フィルタ 入口分岐部〜よう素フィルタ(A)入口ノズル	I	0	0	
					格納容器圧力逃がし装置 よう素フィルタ 入口分岐部〜よう素フィルタ(B)入口ノズル	I	0	0	
原	低 減		格納容器圧力	主配管	格納容器圧力逃がし装置 よう素フィルタ (A) 出口ノズル〜ベントガス放出ライン合流 部	I	0	0	
が 子 炉 格	1厘 そ	放射性物質濃度制 御設備及び可燃性 ガス濃度制御設備			格納容器圧力逃がし装置 よう素フィルタ (B) 出口ノズル~ドレンタンクライン分岐部	I	0	0	
納施設	4h	並びに格納容器再 循環設備	逃がし装		格納容器圧力逃がし装置 ドレンタンクラ イン分岐部~ベントガス放出ライン合流部	I	0	0 0	
	設備		置		格納容器圧力逃がし装置 ベントガス放出 ライン合流部〜原子炉建屋頂部放出口	I	0	0	
					格納容器圧力逃がし装置 格納容器フィルタベント窒素パージライン接続ロ〜格納容器フィルタベントライン窒素パージライン合流部	I	0	0	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレンタンクラ イン分岐部〜ドレンタンク入口ノズル	I	0	0	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレンタンク出 ロノズル〜ドレン移送ポンプ入口ライン合 流部	I	0	0	
					格納容器圧力逃がし装置 フィルタ装置~ ドレン移送ポンプ入口ライン合流部	I	0	0	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ポンプ入口ライン合流部〜ドレン移送ポンプ分 岐部	I	0	0	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ポンプ分岐部〜ドレン移送ポンプ(A)	I	0	0	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ポンプ分岐部〜ドレン移送ポンプ(B)	I	0	0	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ポンプ(A)~ドレン移送ポンプ出口合流部	I	0	0	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ポンプ(B)~ドレン移送ポンプ出口合流部	I	0	0	

					设備ごとの調達に係る管理のグレード 	人し入順		VIV)		
発電用原子炉施設の種類		設備区分	系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	「7.3設計・開発」の適用業務システム計画 システム計画 保安規定品質マネジメント	「7.4調達」の適用業務システム計画 システム計画 保安規定品質マネジメント	備考	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ポンプ出口合流部~ドレン移送ポンプ窒素パージライン合流部	I	0	0		
					格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ポン プ窒素パージライン合流部〜T49-F020	I	0	0		
					可燃性ガス濃度制御系 T49-F020~フィル タベントドレン移送ライン合流部	I	0	0		
			格 納	主配管	格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ライン窒素パージライン接続ロ〜ドレン移送ポンプ窒素パージライン合流部	I	0	0		
		放射性物質濃度制 御設備及び可燃性 ガス濃度制御設備	容器圧力		格納容器圧力逃がし装置 フィルタ装置補 給用接続ロ〜フィルタ装置	I	0	0		
		並びに格納容器再 循環設備	逃がし装		代替給水設備 可搬型代替注水ポンプ屋外 用20mホース (6,7号機共用)	Ш	0	0		
			置		格納容器圧力逃がし装置 可搬型窒素供給 装置用20mホース (6,7号機共用)	I	0	0		
					格納容器圧力逃がし装置 スクラバ水pH制 御設備用3m,5mホース (6,7号機共用)	I	0	0		
	圧力低減設			フィルター	フィルタ装置	I	0	0		
					よう素フィルタ	I	0	0		
原					T31-F001	既設設備で 理に基づき				
子炉格納	備その				T31-F002	既設設備で 理に基づき	があり,当時 実施してい	寺の調達管 いる。		
施設	他の安全				T31-F003	既設設備で 理に基づき				
	設 備				T31-F010	既設設備で 理に基づき				
					T31-F011	既設設備で 理に基づき	があり,当時 実施してい	寺の調達管 いる。		
			<del></del>	主要弁	T31-F012	既設設備で 理に基づき				
		原子炉格納容器調 気設備	不活性ガ		T31-F016	既設設備で理に基づき	実施してレ	いる。		
			ス 系		T31-F019	既設設備で理に基づき	実施してい	いる。		
					T31-F020	既設設備で理に基づき	実施してい	いる。		
					T31-F021	既設設備で理に基づき	実施してい	いる。		
					T31-F022 不活性ガス系 原子炉区域・タービン区域	既設設備で理に基づき	実施してレ	<b>`</b> る。		
				) was felt	換気空調系~不活性ガス系原子炉区域・ タービン区域空調配管合流部	既設設備で理に基づき				
					不活性ガス系 不活性ガス系原子炉区域・ タービン区域空調配管合流部~不活性ガス 系ドライウェル入口配管合流部及び不活性 ガス系サプレッションチェンバ入口配管合 流部	既設設備で 理に基づき				

				適合性確認対象影	は備ごとの調達に係る管理のグレード	及び実績	(設備関	係)	
発電用原子炉施設の種類		設備区分	系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	「7.3設計・開発」の適用業務システム計画保安規定品質マネジメント	「7.4調達」の適用業務システム計画 保安規定品質マネジメント	備考
						既設設備で 理に基づき			
						既設設備で 理に基づき			
					不活性ガス系 T31-F010~不活性ガス系ドライウェル入口配管合流部及び不活性ガス 系サプレッションチェンバ入口配管合流部	既設設備で 理に基づき		寺の調達管	
						既設設備で 理に基づき			
			不			既設設備で 理に基づき			
		原子炉格納容器調 気設備	活性ガスを	主配管		既設設備で 理に基づき			
	圧力低減		系		不活性ガス系 ドライウェル・サプレッションチェンバ合流部〜耐圧強化ベントバイパスライン分岐部	既設設備で 理に基づき			
					不活性ガス系 耐圧強化ベントバイパスライン分岐部~不活性ガス系非常用ガス処理 配管分岐部	既設設備で 理に基づき	備であり,当時 づき実施してレ	寺の調達管ハる。	
					不活性ガス系 不活性ガス系非常用ガス処理配管分岐部〜耐圧強化ベントライン分岐部	既設設備で 理に基づき		寺の調達管ハる。	
					不活性ガス系 耐圧強化ベントライン分岐 部~T31-F021	既設設備で 理に基づき			
原子炉格	設備そ				不活性ガス系 不活性ガス系非常用ガス処理配管分岐部~T31-F020	既設設備で 理に基づき			
納施設	の他の安				ドレンタンク	I	0	0	
	安全設備			容器	フィルタ装置	I	0	0	
					よう素フィルタ	I	0	0	
					遠隔空気駆動弁操作用ボンベ	I	0	0	
			格 納		T31-F070	既設設備で 理に基づき			
		圧力逃がし装置	容器圧力		T31-F072	I	0	0	
		/エ/ <i>/ )  </i> 2017	逃がし	主要弁	T61-F001	I	0	0	
			装置		T31-F019	既設設備で 理に基づき			
						既設設備で 理に基づき			
				圧力開放板	ラプチャーディスク (フィルタ装置出口側)	I	0	0	
				ا ا	ラプチャーディスク (よう素フィルタ出口側)	I	0	0	
				主配管	格納容器圧力逃がし装置 格納容器フィルタベントライン分岐部 本格納容器フィルタベントライン窒素パージライン合流部	I	0	0	

	ı		ı		役備ごとの調達に係る管理のグレード ▼	人口入順		VIV)	
発電用原子炉施設の種類		設備区分	系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	「7.3設計・開発」の適用業務システム計画 保安規定品質マネジメント	「7.4調達」の適用業務システム計画 保安規定品質マネジメント	備考
					格納容器圧力逃がし装置 格納容器フィル タベントライン窒素パージライン合流部~ フィルタ装置入口ノズル	I	0	0	
					格納容器圧力逃がし装置 フィルタ装置出 ロノズル〜よう素フィルタ入口分岐部	I	0	0	
					格納容器圧力逃がし装置 よう素フィルタ 入口分岐部~よう素フィルタ(A)入口ノズル	I	0	0	
					格納容器圧力逃がし装置 よう素フィルタ 入口分岐部〜よう素フィルタ(B)入口ノズル	I	0	0	
					格納容器圧力逃がし装置 よう素フィルタ (A) 出口ノズル~ベントガス放出ライン合流 部	I	0	0	
					格納容器圧力逃がし装置 よう素フィルタ (B)出口ノズル~ドレンタンクライン分岐部	I	0	0	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレンタンクラ イン分岐部~ベントガス放出ライン合流部	I	0	0	
					格納容器圧力逃がし装置 ベントガス放出 ライン合流部~原子炉建屋頂部放出口	I	0	0	
	圧力				格納容器圧力逃がし装置 格納容器フィルタベント窒素パージライン接続ロ〜格納容器フィルタベントライン窒素パージライン合流部	I	0	0	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレンタンクラ イン分岐部〜ドレンタンク入口ノズル	I	0	0	
原子	乃低減設備		格納容器		格納容器圧力逃がし装置 ドレンタンク出 ロノズル〜ドレン移送ポンプ入ロライン合 I 流部	0			
炉格納施	その他	圧力逃がし装置	圧力逃が	主配管	格納容器圧力逃がし装置 フィルタ装置 ドレン移送ポンプ入口ライン合流部	I	0	0	
設	の安全設備		と表置		格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ポンプ入口ライン合流部~ドレン移送ポンプ分 I 岐部	0	0		
	備				格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ポンプ分岐部~ドレン移送ポンプ(A)	I	0	0	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ポンプ分岐部~ドレン移送ポンプ(B)	I	0	0	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ポンプ(A)~ドレン移送ポンプ出口合流部	I	0	0	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ポンプ(B)~ドレン移送ポンプ出口合流部	I	0	0	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ポンプ出口合流部〜ドレン移送ポンプ窒素パージライン合流部	I	0	0	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ポンプ窒素パージライン合流部~T49-F020	I	0	0	
					可燃性ガス濃度制御系 T49-F020~フィルタベントドレン移送ライン合流部	I	0	0	
					格納容器圧力逃がし装置 ドレン移送ライン窒素パージライン接続ロ〜ドレン移送ポンプ窒素パージライン合流部	I	0	0	
				本 系 F	格納容器圧力逃がし装置 フィルタ装置補 給用接続ロ〜フィルタ装置	I	0	0	
					可燃性ガス濃度制御系 フィルタベントドレン移送ライン合流部〜サプレッション チェンバ	既設設備で 理に基づき			

発電用原子炉施設の種類	設 備 区 分		系統名	機器区分	機器名称	品質管理グレード	「7.3設計・開発」の適用業務システム計画 保安規定品質マネジメント	「7.4調達」の適用業務システム計画 保安規定品質マネジメント	備考	
					不活性ガス系 耐圧強化ベントバイパスライン分岐部~T31-F072	I	0	0		
					格納容器圧力逃がし装置 T31-F072〜耐圧 強化ベントバイパスライン合流部	I	0	0		
		J £			格納容器圧力逃がし装置 耐圧強化ベント ライン分岐部〜耐圧強化ベントバイパスラ イン合流部	既設設備で 理に基づき				
					格納容器圧力逃がし装置 耐圧強化ベント バイパスライン合流部〜格納容器フィルタ ベントライン分岐部	既設設備であり, 当時の調達管 理に基づき実施している。				
					不活性ガス系 ドライウェル〜ドライウェル・サプレッションチェンバ合流部	既設設備で 理に基づき				
	圧力低減		格納容器圧力	主配管	不活性ガス系 サプレッションチェンバ〜 ドライウェル・サプレッションチェンバ合 流部	既設設備で理に基づき	ごあり, 当時 を実施してい	寺の調達管いる。		
原子炉格;	殿韻帯その	圧力逃がし装置			不活性ガス系 ドライウェル・サプレッションチェンバ合流部~耐圧強化ベントバイパスライン分岐部 既設設備であり、当時の調理に基づき実施している。	寺の調達管いる。				
納施設	他の安全		逃がし装置		不活性ガス系 耐圧強化ベントバイパスライン分岐部~不活性ガス系非常用ガス処理 配管分岐部	既設設備で 理に基づき	ごあり, 当時 生実施してい	寺の調達管いる。		
	設 備		直		不活性ガス系 不活性ガス系非常用ガス処理配管分岐部〜耐圧強化ベントライン分岐部	既設設備で理に基づき		寺の調達管いる。		
					格納容器圧力逃がし装置 スクラバ水pH制 御設備用3m,5mホース (6,7号機共用)	I	0	0		
					格納容器圧力逃がし装置 可搬型窒素供給 装置用20mホース (6,7号機共用)	I	0	0		
					代替給水設備 可搬型代替注水ポンプ屋外 用20mホース (6,7号機共用)	Ш	0	0		
					フィルタ装置	I	0	0		
					フィルター	よう素フィルタ	I	0	0	

注記\*:「一」は、該当する系統が存在しない場合、又は実用炉規則別表第二を細分化した際に、該当する設備区分名称が存在しない場合を示す。